

令和 6 年度 事業報告書

令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日 特定非営利活動法人
イーハトーブ宇宙実践センター

当法人は、一般市民及び次代を担う子ども達と教育者に対して、天体観測や宇宙科学の実地指導と情報の提供等に関する事業を行い、宇宙及び天文学、科学技術、文化、歴史、農業などの分野における人材育成のための基礎的学習活動に寄与することを目的とする。 {定款・目的より}
— この目的を達成する為、令和 6 年度も、下記の活動を行った —

1. 事業実施の成果 【敬称略】

(1) 令和 6 年度の活動概要

本体事業 [奥州宇宙遊学館の管理・運営 受託 ⇒ 基礎技術教育事業 普及啓発事業 研究会開催事業 情報提供事業]
[理科・啓蒙普及 ⇒ 星空観望会 各種講演会 サイエンススクール サンデースクール 体験学習 自動運転システム ワークショップ 等]
[ILC 中学校出前授業 ⇒ 令和 6 年度、事業受託無し]
[その他 ⇒ 奥州市 県南広域振興局 いわて ILC 加速器科学推進会議 関連団体等との協働事業を実施]

その他事業 [いわて ILC 加速器科学推進会議 事務業務受託]

令和 6 年度も、《①遊学館の管理・運営 ②理科啓蒙普及 ③ILC の啓蒙普及 ④関連団体との協働事業》の 4 本柱とした。

- ① 理科啓蒙普及 ⇒ 普及啓発事業の 1 つとしている [いわて銀河フェス] は、これまで毎年 8 月末に開催していた。しかし、近年夏の猛暑日多発に対し熱中症対策を取る事が必須となった。対策として 6 年度は、開催日を 8 月から 10 月に移動し規模も縮小して開催した。又、冬のイベント [雪まつり] も、近年暖冬のせいか降雪量が少なく、開催内容も再検討せざるを得ない状況になっている。夏・冬通してこれまで長年実施してきた内容での開催、これからは難しい状況となってきている。
- ② 奥州宇宙遊学館の管理運営 ⇒ 平成 20 年 4 月の開館以来、順調に伸びて来た来館者数は、新型コロナウイルスの影響で令和 3 年度の来館者数は約 8,000 人まで減少した。その後回復し、令和 6 年度は 16,019 人となり、前年比 1,624 人の増加となった。又、6 月には平成 20 年 4 月の開館以来、16 年目で 25 万人を達成した。(年度別入館者数などの詳細は、下段(2-a)を参照)事業の実施に関しては、6 年度も計画した内容を実施する事ができた。
- ③ ILC の市民への啓蒙普及 ⇒ ILC の日本誘致は、令和 6 年度も大きな進展は無く終わった。法人としての積極的な活動は行っていない。令和 5 年度まで実施してきた中学校への出前授業、今年度は依頼がなく終了した。行政の思惑は何処に？
- ④ 新型コロナウイルス ⇒ 令和 5 年 5 月、全国規模で実施されてきた新型コロナウイルス対策は 5 類に移行した。岩手県内ではここ奥州市だけが依然として感染者数の高止まりが続いている。令和 6 年度も [手の消毒・遊具等の消毒] は継続して実施した。

今年度の総括

令和 6 年度、大気・水・土壤環境保全活動功労者表彰【環境省】受賞 ⇒ [詳細は、事業報告書末尾(13 頁)に記載]
【参考：令和 5 年度、岩手県環境保全活動表彰 [を受賞した]】
年度当初計画した各種企画は、予定通り開催する事が出来た。来館者に関しては、徐々にではあるが回復傾向にある。

(2) 奥州宇宙遊学館の運営状況

a) 年間来館者の推移 出張先来場者(講演・ワークショップ 依頼、等)の推移

事業年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
来館者数	12,620	13,886	13,463	13,003	16,807	17,616	17,021	17,415	18,100
出張先来場者	データ無	データ無	データ無	データ無	3,873	5,432	6,226	5,703	6,272
事業年度	29 年度	30 年度	元年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	合計
来館者数	19,389	19,666	25,837	9,995	7,991	11,878	14,395	16,019	265,101
出張先来場者	5,201	5,134	5,444	1,053	810	642	1,054	1,074	46,844

来館者累計 25 万人達成・記念品贈呈 6 月 16 日(日) 平成 20 年 4 月開館から 16 年で来館者数累計が 25 万人
[25 万人目来場者 ⇒ 北上市立黒沢尻東小学校 5 年、峰 嵩 仁 君]

出席者：奥州市教育委員会教育長・高橋勝、NPO 法人イーハトーブ宇宙実践センター理事長・大江昌嗣、奥州宇宙遊学館館長・亀谷收

b) 展示内容・設備関係の充実・更新

展示内容⇒ ・「精密日時計(令和 5 年・製)」の実用展示開始 奥州宇宙遊学館駐車場、冬期・セミナー室
・「渾天儀(3 号機) + 小圃(おばた)仲達、師弟相関図(水沢図書館・作)の展示」 ⇒ 展示室(星)
・DVD「緯度観測所と水沢のまち(令和 6 年 1 月・製)」常設上映へ ⇒ ① 新しい風 … 展示室(風)
② 緯度観測所と水沢のまち … 展示室(星) ③ 宇宙の力が地球の中を動かす … 展示室(月)
展示設備⇒ ・太陽 4 画面 (①白色光・②紫外線・③赤外線・④X 線による可視観測) 表示用パソコンの更新
・セミナー室脇・準備室(中 2 階に部品棚 2 台設置)

c) 団体来館者一覧（順不同）

◎ 幼稚園保育園

玉里保育所 東水沢保育園 いずみ保育園 ときわ保育園 こじか幼稚園 日高ななつ星 水沢こども園
むつみこども園

◎ 学校

水沢南小学校 羽田小学校 佐倉河小学校 南都田小学校 姉体小学校 平泉・平泉小学校 一関・興田小学校
一関・巖美小学校 金ヶ崎・永岡小学校 水沢南中学校 水沢中学校(2回) 放送大学岩手学習センター(2回)
北上中学校・科学部 金ヶ崎高等学校 花巻北高等学校 岩手県立杜陵高等学校奥州校 花巻清風支援学校 岩手大学

◎ 子ども会、親子会、学童クラブ

東町・横町子ども会 水沢・東沖ノ目子ども会 胆沢・柴山子ども会 北上・本郷子供会 大崎・しらうめ学童クラブ
花巻・湯口学童クラブ 北上・放課後等デイサービスチャーむ 金ヶ崎・西小学校4学年PTA 花巻・藤田宮沢子ども会

◎ 地区センター、その他団体 — 研修を含む

天文台で賢治を読む会(11回) 羽田中央寿クラブ (有)阿部製材所 (一社)IVENU(6) 胆沢・伊藤徳雄(会社OB会)
岩手町・一方井地区自治振興会連絡協議会 岩手町・自治大学校707会 二戸・二戸市選挙管理委員会
滝沢・滝沢市社会福祉協議会 紫波・猪去農家組合 久慈・久慈ユネスコ協会 水沢南自治振興会 アンサンブルレストレ
盛岡・見前地区自治公民館連絡協議会 盛岡・上田の杜の会 盛岡・中央通り百盛会 盛岡・ゆうゆう大学見前校
盛岡・三本柳柳寿会 盛岡・盛岡市統計調査員協議会 盛岡・盛岡観光コンベンション協会 盛岡・しぶたみ啄木会
盛岡・岩手県公共嘱託登記土地家屋調査士協会 花巻・シニア大学学芸学部 花巻・花巻市シニア大学 花巻・もとだて病院
北上・在宅高齢者ふれあいデイサービス 北上・黒沢尻北地区交流センター 北上・(株)ソルティライフキャリア北上
一関・新町町内会 一関・関が丘市民センター 一関・狐禅寺市民センター 一関・東磐交通(株) 一関・千厩長生会連合会
一関・室根市民センター 仙台・NPO法人シニアのための市民ネットワーク仙台 仙台・石田實記念財団 水沢ライオンズクラブ
東京・日本サイエンスコミュニケーション協会 千葉・ものがたり文化の会ねもとパーティ 奥州青年会議所 奥州商工会議所
国立天文台水沢VLBI観測所(3) 県南広域振興局 日本宇宙少年団水沢Z分団 奥州市少年少女発明クラブ
奥州市〔教育委員会・初任者研修、奥州を知る研修会 政策企画課・岩手県統計調査員研修会 倉成淳(3回)
未来羅針盤課〕

d) 関係機関・団体との連携 — 研修会参加 —

《 全国科学館連携協議会 東北ブロック会議 》

令和6年度 全国科学館連携協議会 2024年度東北ブロック会議(研修会)

目 的： 全国科学館連携協議会の目的に照らし、東北地域における科学技術普及の拠点である各科学館の連携促進を図る。連携協がすすめる科学館の人材育成のプロジェクトに基づき、相互補完や啓発が出来ることを目的とする。

開催日： 令和6年11月13日(水)～14日(木) 場 所： 山形県産業科学館 出席者： 花田英夫・松坂幸江

研修会： サイエンスショー〔カワサキサイエンス、郡山ふれあい科学館〕 情報交換：〔各館の運営状況・次年度以降の開催〕

： ワークショップ〔メルティスタンプ・錯視カード、スリーエム仙台市科学館〕 館内見学：〔各展示室、自由見学〕

《 国立天文台 日本天文教育普及研究会 》

第7回 Mitaka ワークショップ 令和7年1月12日(日)13:00～17:30

会場： 国立天文台すばる棟大セミナー室(令和6年10月にリニューアルオープン) 4D2Uドームシアター

主催： 日本天文教育普及研究会 Mitaka ワーキンググループ 定員： 100名以内 参加者： 曾部朋美

① MitakaWGの近況報告、羽田野聡美(MitakaWG代表) ② Mitakaの概要と現在の状況、加藤恒彦(立教大学)

③ 4D2Uドームシアターリニューアルの概要、遠藤勇太(国立天文台) ④ デモ上映、岩下由美(国立天文台)

⑤ 4D2U新作ムービーのご紹介、武田隆顕(国立天文台)

⑥ Mitaka活用事例紹介

国立天文台三鷹移転100周年イベントでのMitaka/アマテラスドームプレイヤーの活用、波多野聡美(国立天文台)

⑦ グループワーク・懇談・相談会

A： 初心者向け： Mitaka 入門 B： スクリプト入門 C： 自由に活用案を作成する/スクリプト使用有り

D： 自由に活用案を作成する/スクリプト使用無し

⑧ 懇親会

(3) ILC の北上高地誘致に対する啓蒙活動（関係団体・開催案内を含む）

a) 関係団体の開催事業・講演会、紹介

- ① 5月24日(金) KEK×東経連 BC クロストーク 開催方式:オンライン(zoom 形式) 超伝導加速器の産業利用について、他 主催:東経連
- ② 6月14日(金) 東北 ILC 推進協 総会 アーバンネット仙台中央ビル 講演: 高エネルギー加速器研究機構 機構長 浅井祥仁
- ③ 7月1日(月) ILC 講演会 ホテルトリオ 盛岡ニューウイング 素粒子物理学の未来と ILC ILC がもたらす“内なるグローバル化”
- ④ 8月1日(木) 奥州市 ILC 推進連絡協議会 総会 江刺総合支所 講演: 高エネルギー加速器研究機構 理事 道園真一郎
- ⑤ 8月8日(木) 「夏休み、ILC と科学」 さくらホール 出前授業「ILC って何?」+実験実習 主催: 岩手県 ICC 推進協議会
- ⑥ 9月26日(木) 第一回 ILC 講演会 アーバンネット仙台中央(会場+Zoom 開催) 講演: ILC ジャパン代表 石野雅也 主催:東経連
- ⑦11月5日(火) 視察会 ①ナテラス ②東北大学先端量子ビーム科学研究センター三神峯 ③同青葉山 主催: 東北 ILC 推進協
- ⑧11月29日(金) KEK×東経連 BC クロストーク 開催方式:オンライン(zoom 形式) 大電力装置と電気設備 ビーム測定と運転 東経連
- ⑨12月2日(月) ILC 講演会 ホテルトリオ 盛岡ニューウイング ①ILC-Japan の組織と活動 ②ILC 技術の社会的課題への貢献
- ⑩ 1月14日(火) 第2回 ILC 講演会 アーバンネット仙台中央(会場+Zoom 開催) 講演: ILC が拓く未来 主催: 東北 ILC 推進協
- ⑪ 2月19日(水) 第14回グリーン ILC セミナー ホテルティープラザ 北上 ①ILC の最近の動向とグリーン ILC 他 主催: 岩手県 ILC 推進局

b) ILC 技術セミナー 【令和6年度、いわて加速器関連産業研究会】 主催: (公財)いわて産業振興センター

- 第1回 5月29日(水) 岩手県民会館 総会 超伝導加速器の開発とその応用利用について 企業紹介・金属技術㈱
- 第2回 9月12日(木) 岩手 ILC 連携室・オープンラボ 超伝導加速器空洞の製作とシステム運用 ILC 推進プロジェクトリスニングについて
- 第3回 11月28日(木) 岩手大学・復興祈念銀河ホール Nano Terasu の紹介と XAFS 測定の事例紹介 Nano Terasu 利用報告
- 第4回 12月19日(木) 岩手 ILC 連携室・オープンラボ ILC とまちづくり 県内 NPO 法人による講演
- 第5回 2月26日(水) マリス 185・186 ①ゲノム/オミックス研究の現況 ②重粒子線施設参入と電源業界の最近の動向 ③まとめ

c) ILC チャレンジ部 【最前線技術について専門研究員が詳細に解説】 主催: いわて加速器関連産業研究会

- 第1回 6月27日(木) 岩手県 ILC 連携室オープンラボ 加速器における超高真空関連装置の取り扱い ベーキング技術の実習
- 第2回 10月3日(木) 岩手県 ILC 連携室オープンラボ 加速器関連装置の精密位置決め(アライメント) KEK 技術副主幹・荒木 栄
- 第3回 12月19日(木) 岩手 ILC 連携室・オープンラボ Matterport によるデジタルツインの実現(概要、建設業界における活用)

d) 中学校 ILC セミナー 【令和6年度・事業受託なし】

(4)-1 サンデー・スクール 場所: 奥州宇宙遊学館で(毎月第4日曜日・14:30~15:30)の定期開催

-2 サイエンス・スクール 場所: 依頼者指定の日時・場所での随意開催(出前スクール)

目的: 人類の隆盛を支えてきた一大要因は、宇宙を含む自然に対する飽くなき好奇心と、そこから得られた科学技術の積み上げです。現代社会では理科ばなれの風潮から、科学技術継承・発展のための人材不足が懸念されています。イーハート・サイエンススクールは、小学生・中学生はもとより親世代を含む一般の方も対象に、科学について易しく学び、理解を深めていただく活動を展開します。本スクールは科学について、やさしく、分かりやすく学ぶスクールです。

講師陣: 元理科教師 元エンジニア 元研究者 などで構成 講師登録者数 15 名

令和6年度、開催・受講者数 サンデー・スクール ⇒ 11 回 226 人 サイエンススクール ⇒ 27 回 618 人

講座一覧

- | | | |
|-------------|------------------------|-------------------------|
| 1) 自然の観察 | 1-1 地球のマントルから来た石を探そう | 1-2 地震の揺れをどうやって測るの? |
| | 1-3 胆沢扇状地の地形と水利の歴史 | |
| 2) 星空のロマン | 2-1 宮沢賢治とやさしい天文の科学 | 2-2 「北斗七星」ってどんな星座? |
| | 2-4 三日月はいつ見えるの? | 2-5 オリジナル日時計を作ろう |
| | 2-7 天の川銀河の模型を作ろう | 2-8 星座早見を作って天文博士になろう |
| | 2-9 星座の動きを調べよう | |
| 3) 電気・磁気の力 | 3-1 モーターはなぜ回るの? | 3-2 マイコンで LED を点滅させてみよう |
| | 3-3 静電気って何? | |
| 4) 光と電波と音 | 4-1 光ファイバとはどういうもの? | 4-2 音の正体は何だろう? |
| | 4-3 オーラの不思議 | 4-4 光を7色に分けてみよう |
| | 4-5 ドップラー効果って何だろう | 4-6 電波を感じて探してみよう |
| 5) 力と運動 | 5-1 ペットボトル水族館をつくる | 5-2 コマはなぜ倒れないの? |
| | 5-3 衝突の不思議 | 5-4 地球回転ゴマを作ろう |
| | 5-5 地球の重力を調べよう | |
| 6) 低温の不思議 | 6-1 雪の不思議 | |
| 7) 気体・液体・固体 | 7-1 空気のサイエンスショー | 7-2 大気圧を感じてみよう |
| | 7-3 シャボン玉の家楽 | 7-4 水の不思議をさぐる |
| | 7-5 ジェット風車を作ろう | |
| 8) 原子と分子 | 8-1 ものを分子原子のレベルで考えてみよう | 8-2 色って何だろう? |
| | 8-3 本物の金はどちらか | |
| 9) 生命の不思議 | 9-1 スパロー微生物の超能力を確認しよう | 9-2 プラントと水生昆虫を観察しよう |
| | 9-3 酵素の働きを体験しよう | 9-4 親から子へ「人の遺伝」を分析しよう |
| 10) その他 | 10-1 緯度観測所と Z 項の本当の姿 | 10-2 宇宙誕生と ILC |

(5) 継続事業(基礎技術的教育事業)

a) 令和 6 年度、ワークショップ《自動運転で動く車のしくみ》 対 象：小学校 4 年生 ～ 大人

目的：LEGO 社のロボット「EV3」を使って、自動運転に用いられる技術をロボットで再現(プログラミング)することで、一人一人が試行錯誤しながら目的を達成するプログラム。それらの活動を通して、理論的に物事を考える力を醸成するとともに、自動運転が広がっていく未来についても考える。 定員：各回 8 人	
協力：全国科学館連携協議会 日本科学未来館	協賛：ビー・エム・ダブリュ株式会社
内 容：① 運転と自動運転の違いを考える ② ロボットが動くしくみを知る ③ プログラミングをして EV3 を走らせる ④ 新しい技術と私たちのくらしの関わりについて考える	
午前の部：前年度までのレベル 1+レベル 2 前半相当 ①前進後退 ②前進右 90° 後退 ③駐車 ④ライトレース	
午後の部：チャレンジコース(前年度までのレベル 2 後半相当)(さまざまな自動運転、複雑なコースにも挑戦)	
講 師 陣：佐藤 克久、及川 徹、小野寺 市男、小田島 聡、吉次 孝太、阿部 晃彦、花田 英夫	
開 催 日：第 15 回目、7 月 21 日(日) 25 人 午前の部：16 人 午後の部：9 人 第 16 回目、1 月 12 日(日) 15 人 午前の部：7 人 午後の部：3 人 第 17 回目、3 月 16 日(日) 17 人 午前の部：15 人 午後の部：2 人	

(6) 講演依頼、資料・展示品の貸出、講習会・研修会・セミナー参加、イベント協力

① 講師派遣

2024 年度第 1 学期「宇宙の多様性と観測方法の多様化」 主催：放送大学岩手学習センター(岩手大学構内) 6 月 1 日・2 日
テーマ ① 宇宙の多様性と人間の関係 ② 光による天文学の発展と人類の宇宙の認知の広がり ③ 岩手での天文学の発展と
宮沢賢治 ④ 月惑星探査の発展 ⑤ 電波天文学の始まりとその後の発展 ⑥ 光と電波以外の電磁波の観測方法の発展
⑦ 電磁波以外の観測方法の発展 ⑧ 地球外生命をさがす 試験・レポート、等 参加者：26 人
担当講師：NPO 法人 イート・アップ宇宙実践センター 理事 亀谷 収 会場：奥州宇宙遊学館

② 岩手県立博物館、企画展開催に伴う奥州宇宙遊学館への協力要請(受諾) 専門学芸調査員 目時和哉

令和 7 年度、岩手県立博物館企画展 会期：2025 年 6 月上旬 ～ 8 月上旬 会場：岩手県立博物館、特別展示室
テーマ：星にねがいをもつ ～ 宇宙(そら)といわたるの千年史 ～ [序章・1 章 ～ 5 章・終章] 貸出：旧緯度観測所本館模型
コンセプト：宮沢賢治、水沢天文台、ILC をはじめ、現在当県振興上不可欠な要素となっている宇宙という切り口から、岩手県
域で展開した歴史をたどる。その過程で過去の先人達と同じ視線で宇宙や星空を見つめ直すと共に、ILC 誘致や花
巻市の宇宙による町おこしなど、県内における宇宙に関する現代的な挑戦についても周知し、その後押しとする。

③ 大阪市立科学館、プラネタリウム番組「オーロラに逢いにいこう」制作に伴う要請(資料提供) 学芸員 西野藍子

2024 年 12 月 6 日 ～ 2025 年 3 月 2 日に投影予定のプラネタリウム番組「オーロラに逢いにいこう」に使用する低緯度オーロラ写真の借用
撮影者：酒井 栄 撮影日時：2024 年 5 月 12 日 23h44m 以降 撮影場所：酒井天体観測所(奥州市水沢)

④ 全国同時七夕講演会 2024 開催登録(参加) 主催：日本天文学会

7 月 13 日 星空観望会、「七夕星空コンサート」ポニーノ弦楽四重奏団 「星座を見つけよう！ ヘルクス座・へびつかい座」
8 月 10 日 星空観望会、「寝っ転がってペルセウス座流星群を見よう」(+ 眼視天頂儀室公開)
8 月 18 日 講演会、「天の川銀河中心の巨大ブラックホール “いて座 A*”」 岩田悠平・国立天文台水沢 VLBI 観測所 特任教授

⑤ 奥州市「ふるさと学習」テキスト編集委員会アドバイザーの受託

依頼元：奥州市教育委員会学校教育課

目的：「ふるさと学習」をとおして、郷土愛を醸成する。身近な地域から広げ、市全体の理解を深める。(歴史・文化、等)
対象：奥州市内の小学校 3 年生から中学校 3 年生まで ・アドバイザー任期、委員：2 年間、記念館・資料館長(亀谷 収)

⑥ NPO 運営基盤強化セミナー(受講) 第 2 回、奥州市市民活動支援講座として実施するもの

日時：令和 7 年 2 月 18 日(火) 13:30～15:30 会場：奥州市江刺総合支所 4 階大会議室 受講者：齋藤 一
内容：NPO 法人の事務処理 ～役員変更に関する報告手続きを中心に～

ア)NPO 法人が行う登記について イ)役員変更に関する登記について ウ)登記の失念が発覚したときどうする？

講師：小山田泰彦司法書士事務所(花巻市) 司法書士 小山田泰彦

主催：NPO 法人活動交流センター(いわてソーシャル・パートナーシップ 共同体) 共催：奥州市協働まちづくり部地域づくり推進課(担当)

(7) 継続事業(令和 2 年 10 月からの遊学館内容充実のための継続事業)

- ・「銀河を VR で見るソフトの開発」⇒ 銀河系の星を 3 次元で見るソフト開発 + ドームに投影したプラネタリウムのイメージのソフト開発
(星の数 45,000 個(8 等級まで) = 銀河全体の形が見える 地上から見た構図で、星座が判別できる) 2 月完成
- ・DVD「緯度観測所と水沢のまち」完成 3 部〔①新しい風 ②緯度観測所と水沢のまち ③宇宙の力が地球の中を動かす〕

組織 (会員数)

令和 7 年 3 月 31 日 現在

・新規会員 ⇒ 正会員 0 人 一般会員 0 人 賛助会員 0 人 [正会員 22 人 一般会員 10 人 賛助会員 14 人 団体 7]

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に関する事項

敬称略

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
基礎技術的 教育事業	サンデースクール {自主事業}					195
	月に人は住めるかな? 花田英夫	6. 4. 28	奥州宇宙遊学館	1人	児童保護者 25人	
	太陽系の惑星 高梨 拓	6. 5. 26	〃	1人	児童保護者 25人	
	地球とどんな違いがあるかな?					
	今何時? -時刻を知ろう- 佐藤克久	6. 6. 23	〃	1人	児童保護者 40人	
	電子オルゴールはどうして聞こえるの 小野寺市雄	6. 7. 28	〃	1人	児童保護者 16人	
	身近な“遺伝” 山口成実	6. 8. 25	〃	1人	児童保護者 20人	
	人と星空、人と電波の関係 亀谷 収	6. 9. 22	〃	1人	児童保護者 12人	
	サインペンの色のひみつ 新田孝行	6. 11. 24	〃	1人	児童保護者 11人	
	紙と水でサインペンの色を分ける					
	水のふしぎを知ろう 高橋匡之	6. 12. 22	〃	1人	児童保護者 30人	
	スライムをつくろう					
	オーロラの不思議 高梨 拓	7. 1. 26	〃	1人	児童保護者 14人	
	低緯度オーロラ写真撮影話 星景撮影					
	地震の揺れをどうやって測るの? ペットボトルで地震計作る 花田英夫	7. 2. 23	〃	1人	児童保護者 13人	
	地球の運動を使って宇宙を測る 亀谷 収	7. 3. 23	〃	1人	児童保護者 20人	
	サイエンススクール {自主事業}					53
	「シャボン玉の家楽」 菅原征一	6. 6. 1	一関・川崎市民センター	1人	地区児童 40人	
	「空気のサイエンスショー」 菅原征一	6. 6. 2	一関・東山市民センター	1人	子供会リーダー 24人	
	「空気のサイエンスショー」 菅原征一	6. 7. 5	一関・大原小学校体育館	1人	地区児童 57人	
	「空気のサイエンスショー」 菅原征一	6. 7. 26	北上・和賀地区センター	1人	地区児童 46人	
	「星座早見で天文博士」 亀谷 収	6. 7. 27	北上・飯豊地区交流センター	1人	地区児童 10人	
	「空気のサイエンスショー」 菅原征一	6. 7. 28	遊学館・東町・横町子供会	1人	地区児童 15人	
	「北斗七星、どんな星座」 佐藤克久	6. 7. 31	北上・岩崎地区交流センター	1人	地区児童 18人	
	「空気のサイエンスショー」 菅原征一	6. 8. 7	衣川保健福祉センター	1人	地区児童 30人	
	「星座早見で天文博士」 亀谷 収	6. 8. 7	羽田地区センター	1人	地区児童 60人	
	「ペットボトル水族館」 菅原征一	6. 8. 10	住田・上有住地区公民館	1人	地区児童 13人	
	「空気のサイエンスショー」 菅原征一	6. 8. 11	アピア(吉小路)	1人	地区児童 34人	
	「空気のサイエンスショー」 菅原征一	6. 9. 7	北上・飯豊地区交流センター	1人	地区児童 22人	
	「光を七色に分ける」 高梨 拓	6. 9. 18	水沢第一高等学校1年1組	1人	理数探求講座 9人	
	「ジェット風車を作ろう」 高橋匡之	6. 9. 18	水沢第一高等学校1年1組	1人	理数探求講座 9人	
	「三日月はいつ見える」 花田英夫	6. 9. 18	水沢第一高等学校1年1組	1人	理数探求講座 9人	
	「ブラックホール模型を作ろう」 亀谷 収	6. 9. 18	水沢第一高等学校1年1組	1人	理数探求講座 9人	
	「空気のサイエンスショー」 菅原征一	6. 9. 19	一関・大東バレーボール記念館	1人	興田地区児童 32人	
	「オーロラの不思議」 高梨 拓	6. 10. 6	盛岡・JSS あおやまスイミング	1人	会員の交流 22人	
	「空気のサイエンスショー」 菅原征一	6. 11. 9	北上・黒沢尻東地区交流	1人	地区児童 23人	
	「ぐにゃぐにゃ風」 亀谷 収	6. 12. 21	一関・室根市民センター	1人	子ども土曜塾 4人	
	「宮沢賢治と天文学」 大江昌嗣	6. 12. 25	水沢中学校・総合文化部	1人	生徒 25人	
	「ぐにゃぐにゃ風」 亀谷 収	6. 12. 26	岩屋堂小学校・子ども教室	1人	放課後児童 12人	
	「三日月はいつ見える」 花田英夫	7. 1. 8	北上・相去地区センター	1人	地区児童 18人	
	「オリジナル時計」を作る 亀谷 収	7. 1. 8	岩屋堂小学校・子ども教室	1人	放課後児童 13人	
	「自動運転ワークショップ」 佐藤克久	7. 1. 18	水沢発明クラブ・セミナー室	1人	会員 21人	
	「宇宙誕生とILC」 高梨 拓	7. 3. 13	遊学館・土地家屋調査士	1人	調査士協会 16人	
	「空気のサイエンスショー」 菅原征一	7. 3. 18	奥州市立水沢中学校	1人	総合文化部 31人	

基礎技術的 教育事業	月例星空観望会 {委託事業}					19
	4月 北斗七星の秘密 奥州宇宙遊学館館長 亀谷 收 観望会 星座をみつけよう [おおぐま座 こぐま座]	6. 4. 13	奥州宇宙遊学館	毎回 7～9人	一般市民 50人	
	5月 小型月着陸実証機 SLIM 奥州宇宙遊学館主幹 花田英夫 観望会 星座をみつけよう [りゅう座 うみへび座]	6. 5. 11	〃		一般市民 41人	
	6月 夜空の星で時を知る - 子午儀- 奥州宇宙遊学館スタッフ 曾部朋美 観望会 星座をみつけよう [かみのけ座 おとめ座]	6. 6. 8	〃		一般市民 35人	
	7月 “七夕星空コンサート” 演奏 ポーノ弦楽四重奏団 観望 星座をみつけ [ヘラクレス座]	6. 7. 13	〃		一般市民 81人	
	8月 (講座なし) 寝っ転がってペルセウス座流星群を 見よう(+ 眼視天頂儀室公開)	6. 8. 10	天文台・電波望遠鏡付近		曇天中止	
	9月 視覚障がい者との星空観察 イーハートヴ宇宙実践センター 新田高行 観望会 星座をみつけよう [こと座 わし座]	6. 9. 14	奥州宇宙遊学館 眼視天頂儀室ツアー (天文台・蜂須賀一也)		一般市民 27人	
	10月 出張観望会 (講座なし) ～ 天の川を見よう ～	6. 10. 5	衣川・北股地区センター 現地集合 現地解散		曇天中止	
	11月 秋の星座朗読会 読み手 遊学館スタッフ 観望会 星座をみつけよう [アンドロメダ座 ペガサス座]	6. 11. 9	奥州宇宙遊学館		一般市民 31人	
	12月 クリスマスコンサート 演奏 ポーノ弦楽四重奏団 サンタが街にやってくる、アヴェ・マリア 観望会 星座をみつけよう [カオペア座 北極星]	6. 12. 21	奥州宇宙遊学館 眼視天頂儀室ナイトツアー		一般市民 53人 観望会 曇天中止	
	1月 2025年の天文現象 イーハートヴ宇宙実践センター 岡野友由 観望会 星座をみつけよう [コングャスな おうし座]	7. 1. 11	奥州宇宙遊学館 眼視天頂儀室ナイトツアー		一般市民 34人	
	2月 ふたご座と火星の星座シート イーハートヴ宇宙実践センター 山田慎也 観望会 星座をみつけよう [ふたご座と火星]	7. 2. 8	奥州宇宙遊学館 眼視天頂儀室ナイトツアー		一般市民 28人	
	3月 月着陸デットヒート イーハートヴ宇宙実践センター 新田高行 観望会 [うみへび座昇ってきた]	7. 3. 8	奥州宇宙遊学館		一般市民 35人	

基礎技術的 教育 事業	出張星空観望会 ポミネスカ {自主事業}					60
	中島八千代子供会「星空を見よう」	6. 7. 20	北上二子・中島公民館	2人	地域児童	19人
	北上・芸術工房「星空観望」	6. 8. 24	北上ショッピングセンターパル屋上	2人	団体児童	29人
	花巻 浮田・「中秋の名月 観望会」	6. 9. 15	花巻・浮田振興センター	2人	地域児童	10人
	従業員向けイベント	6. 9. 28	東京エレクトロテクノロジー	2人	従業員	120人
	星空観望会・花巻生涯学習課	6. 9. 28	花巻農村コミュニティセンター	4人	地域児童	11人
	つの子のアトリエ「月を観よう」	6. 10. 13	北上・さくらホール	3人	地域親子	77人
	奥州愛馬の会「満月観望会」	6. 11. 16	水沢競馬場	3人	会員親子	35人
	愛宕で星見っぺし 奥州いさわ会	6. 12. 7	愛宕地区センター	3人	地域親子	40人
	星空観望会・四日町三丁目子ども	7. 1. 12	花巻・花北振興センター	3人	子ども会	46人
	あたご(愛宕)で星見っぺし	7. 2. 15	愛宕地区センター	3人	地域親子	30人
	少年少女学級 特別公開講座	7. 3. 7	北上・飯豊地区交流センター	3人	地域親子	35人
	ワークショップ {自主事業}					71
	「自動運転で動く車のしくみ」 使用ロボット 「EV3」 13台		企画 日本科学未来館 協賛 ヒューマンテクノロジー(株) 協力 全国科学館連携 奥州宇宙遊学館			
	第15回 基礎編(初心者向け)	6. 7. 21		6人	基礎・児童	16人
	上級編(基礎編参加者・経験者)				上級・児童	9人
	第16回 基礎編(初心者向け)	7. 1. 12	〃	6人	基礎・児童	7人
	上級編(基礎編参加者・経験者)				上級・児童	3人
	第17回 基礎編(初心者向け)	7. 3. 16	〃	6人	基礎・児童	15人
	上級編(基礎編参加者・経験者)				上級・児童	2人
普及啓 発 事業	サイエンスカフェ {委託事業}		奥州宇宙遊学館			45
	「時計の歴史と腕時計の最新技術」 ～懐かしの時計から電波時計の仕組みまで ①時の記念日の始まり ②時計の歴史 ③時代と共に進化する時計・技術 ④電波 GPS や位置情報 等 シズン時計マニュファクチャリング(株) 東北北上工場 高橋正幸		Page. 73 6. 6. 16	一般市民	30人	
	「天の川銀河中心の巨大ブラックホール “いて座A*”」 ①EHTで2例目のシミュレーション画像化に成功 ②巨大ブラックホール「いて座A*」について ③明るさの変化で分かっている事 ④今後数年で理解が進みそうな事 国立天文台水沢 VLBI 観測所 特任助教 岩田悠平		Page. 74 6. 8. 18	一般市民	29人	
	「いわての星空環境最前線 2024」 ①現在の“いわての星空環境”についての話 ②観測データを集めた高校天文部の発表 等、いわての星空環境の“いま” 岩手県環境アドバイザー 一戸町観光天文台長 吉田偉峰 一戸町観光天文台長補佐 吉田穹矢 岩手県立盛岡第一高等学校 天文部員 4名 ▶ 6年度「星空の街・あおぞらの街」		Page. 75 6. 12. 15	一般市民	20人	
	「能登半島地震を通してみる 日本周辺の地震のしくみ」 ①能登と東日本の地震のメカニズムの違い ②日本の活断層の分布や特徴について学ぶ イーハート宇宙実践センター 理事 花田英夫		Page. 76 7. 2. 16	一般市民	15人	

普及啓発事業	いわて銀河フェスタ 2024 6. 10. 12 {共同事業} 場所：奥州宇宙遊学館 国立天文台水沢 構内	一般市民	349
	地域とともに 125 年 — 地球から宇宙へ —	3, 300 人	
	事業概要 … 自然科学及び科学意識の啓発と発展を促進。旧緯度観測所時代から国立天文台に至る天文科学の歴史と進化を紹介し、自然科学に関心を抱くための広域的普及活動の一環として		
	□ 国立天文台水沢 VLBI 観測所 特別公開 □ 奥州宇宙遊学館 無料開放 □ 太陽の部オープン 10:00 セレモニー(12:30 奥州宇宙遊学館前) □ 特別講演会 13:30～ 14:30～ 「緯度観測所と地域のあゆみ」		
	人間文化研究機構 人間文化研究創発センター 特任准教授 馬場幸栄 「水沢での 125 年の観測成果」		
	国立天文台水沢 VLBI 観測所 所長 本間希樹 □ 星の部オープン 17:00 セレモニー(17:00 20mアンテナ前) 「星空観望会」18:00～ ※曇天・雨天の場合は中止		
	☆ 学ぶ ◎ 国立天文台、最新研究紹介 VERA 研究紹介：VERA 望遠鏡や水沢 VLBI 観測所が取り組む研究テーマのポスター展示 RISE 研究紹介：「MMX」など RISE が参加する太陽系天体探査計画のポスター紹介 ◎ ILC 紹介：パネル展示、缶バッジ製作、VR 体験 ◎ 星空バレーゲーム：「ホミネカ」望遠鏡操作を体験してみよう ◎ 20mアンテナツアー ◎ クイズラリーもあるよ ◎研究者・技術者への質問コーナー		
	☆ 見る ◎ 企画展：「懐かしの写真展示」「岩手の星空と環境」 「木村栄記念館開館」「眼視天頂儀室公開」 ◎ シアター上映：4D2U ほしみるおじさん 緯度観測所と水沢のまち ◎ 太陽の部セレモニー：東水沢保育園・太鼓 たんぼぼ保育園・ちびっこ鬼剣舞 ◎ 星の部セレモニー：一輪車演舞「アルスノバ」みちのく祭り太鼓「エイサー」 フラダンス「レイロハ」 ◎ 星空観望会：月や土星が見えるかも！ ホミネカ・協力団体		
	☆ 作る ◎ 水沢 Z 分団ワークショップ「かさ袋ロケット」阿部製材所「木工教室」		
	☆ 遊ぶ ◎ サイエンス屋台：「電波を感じて探してみよう」「コハはなぜ倒れないの？」 「風の道と海の道を知ろう」「考えてみようひ！身近な環境クイズ」 ◎ バルーンショー：バルーンアーティスト「おかびー」		
	☆ 食べる ◎ ケータリングカー：カレーだ J Roast 珈琲工房 りょんりょん 水沢食堂 oshu mizusawa ブチカフェ		
	☆ 星ヶ丘町二丁目 銀河マルシェ (クラフトマーケット & ワークショップ) ◎ 宇宙をモチーフ：SELENE～セレネ～ 邑幻堂 Ohanabako 工房 PIPPI ◎ 雑貨屋さん：cocolon ひつじがりや 遊染夢舎(あそむしや) ☆ 宇宙食・宇宙グッズ・ブラックホールを菓子化(可視化)したお菓子 販売		
	主催 国立天文台水沢 VLBI 観測所 奥州市 NPO 法人イーハート宇宙実践センター 共催 岩手県南広域振興局 奥州市水沢南自治振興会 奥州商工会議所 奥州市観光物産協会 日本宇宙少年団水沢 Z 分団 協賛 東京エレクトロニクスソリューションズ株式会社 協力 星の喫茶室 水沢星のサークル 水沢天文同好会 一関星の会 後援 JAXA 岩手県教育委員会 岩手日報社 河北新報社 胆江日日新聞社 岩手日日新聞社 水沢テレビ 奥州エフエム放送 月刊 Oh! Shun		

普及啓発事業	講演会	{委託事業}			46
	☆ 開館 16 周年記念講演会	6. 4. 21	奥州宇宙遊学館	1 人	一般市民 60 人
	「VERA の建設と成果、そして未来」 ～水沢から世界の天文学をリード～ 国立天文台名誉教授 小林 秀行				
	企画展	{自主事業}			108
	☆ 「胆沢扇状地のむかし」	6. 3. 23 ～ 4. 21			一般市民 955 人
	ー寿安堰の成り立ちを 科学的に探るー 胆沢扇状地を豊かな農地へ導いた先人の知恵と技術に迫るパネル展 概要：胆沢扇状地は昔、水は無く荒れた大地だった。その大地を水の流れる豊かな農地とするため、先人たちは胆沢川上流から水を上げて下流へと導くことを考える。しかし扇状地は南が高く北は低い。広い範囲に水を流すことは困難な中で、傾きを測りながら用水路を造り上げた。 その努力と知恵を今日の科学技術から学ぶパネル展示。				
	☆ 「時を知るための道具」	6. 6. 1 ～ 6. 30			一般市民 1,148 人
	天文台では、より正確な観測をするため、より精密な時計は必要不可欠でした。今回の企画展では、当館で製作した精密日時計と普段見ることの出来ない天文台所有の時計を展示。ー 時を知る方法や道具・歴史について学びます。 内容：精密日時計の完成及び披露、時を知る方法や道具・歴史について講演展示 ① 特別展示「時を知るための道具」 [大地の部屋展示スペース] セシウム原子時計、GY 時間計機械装置、リーフラー振り子時計 各 1 台 [国立天文台水沢 VLBI 観測所、所有] ② 星空観望会講演「夜空の星で時を知るー子午儀についてー」6 月 8 日(土) ③ 精密日時計お披露目・解説 遊学館駐車場 6 月 16 日(日)14:35～14:55 20 人 ④ サイエンスカフェ Page. 73 講演会 6 月 16 日(日)15:00～16:00 「時の歴史と腕時計の最新技術～懐かしの時計から電波時計の仕組みまで～」 シチズン時計マニュファクチャリング(株) 東北北上工場 高橋 正幸 ⑤ サンデースクール「今何時？ー時刻を知ろう」6 月 23 日(日) 14:30～15:30				
	☆ 「岩手の星空と環境」	6. 9. 14 ～ 12. 28			一般市民 4,954 人
	岩手県は銀河県！ 宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』を生んだ岩手の美しい星空は人の活動による光害(ひかりがい)によってどのように破壊されているのでしょうか？電波望遠鏡の観測でも、人の活動によって出される人口電波によって、大きな影響を受けるって本当でしょうか？岩手の星空環境と人の活動の関係をわかりやすく展示。				
	☆ 「能登半島地震を通して日本周辺の地震について考える」	7. 2. 16 ～ 3. 31			一般市民 1,685 人
	目的：能登半島地震がどうして起きたのか、能登半島地震と東日本大震災の地震のメカニズムの違いから、地震大国日本周辺の地震について学び、防災に役立てる。体験コーナー、質問・感想コーナーを設け、双方向の事業を目指す。 内容：① 地震のメカニズムの違い、日本周辺の地震の特徴をパネルで紹介 ② 地震のメカニズムの説明用に日本周辺のプレート立体模型を作成し、プレート運動地震について深く知ってもらう。 ③ 地震計で地面の振動を観察、断層模型を動かし体験する。質問コーナー				
	DVD 「緯度観測所と水沢のまち」完成披露上映会	6. 4. 21	{自主事業}		0
	DVD 「緯度観測所と水沢のまち」の完成を記念し、特別講演会開催に合わせて開催。古くからの緯度観測所と水沢との深いつながり、「風野又三郎」に描かれていることの科学的な解説、そして緯度観測所時代から現在までの科学の進展について多くの方々に知ってもらう機会とする。 11:15 ～ 12:00 ①新しい風(21 分) ②緯度観測所と水沢のまち(24 分) 13:15 ～ 13:45 ③宇宙の力が地球の中を動かす(34 分) ①新しい風 法人だより 令和 4 年 7 月号 に内容紹介 ②緯度+③宇宙 法人だより 令和 6 年 7 月号 に内容紹介				一般市民 28 人
	DVD は 会員・関係者に配布				

普及啓発事業	特別企画「天文台未公開スペースを含む ノスタルジックツアー」 国の有形文化財に登録され公開されている「木村榮記念館」、また普段は未公開の「眼視天頂儀室」を案内し、125年の歴史と「Z」の意味を知ってもらう。 場所：「木村榮記念館」→「眼視天頂儀室」 ガイド：蜂須賀 一也 日時：7月20日(土) 21日(日) 毎回 → ①13時～ ②15時～ 7月 12人 8月10日(土) 11日(日) 12日(月祝) ← 台風5号直撃の為中止 8月 27人 9月14日(土) 15日(日) 16日(月祝) 9月 56人 11月16日(土) 17日(日) 毎回 → ①11時～ ②14時30分～ 11月 35人 12月21日(土) 22日(日) 12月 11人 1月11日(土) 12日(日) 13日(月祝) 各回30分 1月 23人 2月22日(土) 23日(日) 24日(月祝) 定員：各回10人 2月 53人 3月20日(木祝) 22日(土) 23日(日) 3月 47人	一般市民 (来館者希望者)	2
	体験学習 6. 8. 4 {自主事業} 鋳物のリジナルキーホルダーを作ろう ― 金属は宇宙からの恵み ― 学 ぶ：金属はどこからきたの？ 地球上にある金属はどうやって出来たのか？ また、どこからやってきたのか？ 宇宙と金属の関係についての学習 考える：どんなキーホルダーを作る？ 金属(ｽｽﾞ)を加工して鋳物のキーホルダーを作る。 注意すべき点を聞き、リジナルキーホルダーのデザインを考える 作 る：鋳造体験をしよう！ 紙の鋳型(鋳物を作る道具)を自分で作製 講 師：大田彩子(奥州市鋳物技術交流センター・副所長) 菅原利康(奥州市鋳物技術交流センター・主査) 主 催：奥州宇宙遊学館 奥州市鋳物技術交流センター 共 催：奥州市教育委員会 後援：いわて鋳造研究会	小学生 10人 保護者 8人	9
	令和6年「宇宙の日」記念行事 全国小・中学生 作文絵画コンテスト {委託事業} 作文・絵画テーマ 『 きみの考える宇宙ロボット！ 』 宇宙開発が発展し、宇宙がより身近になってきた今、きみたちが宇宙に行く日も近い将来やってくるでしょう。宇宙での探査活動には人間を支えてくれるロボット技術が必要不可欠です。もしもきみが宇宙での探査活動をしに宇宙へ旅立つとき、相棒になるかもしれない「宇宙ロボット」はどんなロボットでしょう？キミが考える、ユニークな宇宙ロボットを紹介してください。 応募資格：全国の小・中学校に在籍している児童・生徒 [令和6年・全国50館で実施] 主 催：国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、公益財団法人日本宇宙少年団、各応募館 協 力：宇宙なんちゃらこてつくん (応募締切 絵画:10月7日 作文:10月10日、必着) 作品募集：7月初旬～9月12日 作品展示：1月4日(土)～1月31日(金) 表彰式：1月19日(日)13:30 応募数：作文⇒小学1件 絵画⇒小学9件、中学8件 作品審査：小学生〔最優秀賞1点 優秀賞2点 佳作3点〕 審査日：9月30日 中学生〔最優秀賞1点 優秀賞2点 佳作3点〕 全 体〔理事長賞2点 水沢VLBI観測所所長賞2点 館長賞2点〕		13
	第14回 雪の不思議に出会える2週間 {自主事業} 【期 間】 2月1日(土)～11日(火・祝) 【目 的】 雪の不思議、雪の楽しさ、自然現象の素晴らしさを身近に感じ楽しく学ぶ。科学の目から冬の楽しさ、不思議さ、美しさを体感する。 【展 示】 ①パネ展示 ②パネから答えを探そう！「雪の不思議クイズ」 ③雪の応募写真を展示 【実験・体験】 ①雪の結晶をつくる ②雪の結晶を観察 ③ｽﾏｰﾄで雪の結晶を撮影 ④不思議な雪の造形物を撮影しよう(応募の中から「大賞」決定) 【上映会】 ①中谷宇吉郎DVD [平日①11:30 ②13:00] 【読み聞かせ】 ①ブラックリット紙芝居:ヒカル君の星巡り [土・日・祝 11:15～] ②手遊びうた紙芝居(雪わたり:宮沢賢治) [土・日・祝 14:45～]	一般市民 122人	13

普及啓発事業	ゴールデンウィークイベント わくわくイベント 6. 4. 27 ～ 6. 5. 6 {委託事業}				一般市民 267 人 一般市民 78 人 一般市民 35 人 一般市民 225 人	3
	・みる 「4D2U・賢治さんが歩いた銀河の森とたからもの・銀河鉄道の旅」 「わたしのワンピース」 5/5 4 回/日 ― こどもの日特別上映					
	・つくる「ワークショップ：紙コップロケット」 5/3.4 2 回/日 5/5 1 回/日					
	・あそぶ「シャボン玉で遊ぼう」 5/5 1 回					
	・おまけ「ぬり絵コーナー&月での体重測定」 5/5 終日					
・天文台職員の「国登録有形文化財がイベント」 4/27. 28. 29 5/3. 4. 5. 6 5 回/日						
	ワークショップ					47
	・夏休みワークショップ	6. 8. 14	奥州宇宙遊学館	2 人	一般市民 52 人	
	夏休み工作教室	15	毎回		一般市民 35 人	
	「マグナス飛行機をつくろう」	16	①11:15～ ②14:45～		一般市民 34 人	
	・クリスマス ワークショップ	6. 12. 13	奥州宇宙遊学館	0 人	一般市民 16 人	
飼育している羊の毛を使って			講師:ひつじがりや			
「羊のもこもこバック」			松島紘子			
・新春サイエンス工作	7. 1. 11	奥州宇宙遊学館	2 人	地域親子 14 人		
「くねくね動くヘビを作ろう」						
パブリックビューイング {自主事業}						0
古川宇宙飛行士 ミッション報告会 6 月 23 日						
古川 聡 宇宙飛行士への質問 宇宙でしか見つけられない答えがあるから					一般市民 20 人	
基礎技術的教育事業	職場体験(奥州市・北上市、中学2年生) 受入					0
	東水沢中学校2年生 6. 9. 5 ～ 6. 9. 6 体験・学習時間 8:30 ～ 15:00				男子2名	
	・体験：館内案内 クイズラリー 天文台認識 4D2U 展示品拭き				女子2名 計4名	
	・学習：緯度観測所と宮沢賢治 月や天体の話 ブラックホールや宇宙の話					
	・工作：ブラックホール工作 プラプラブラックホール マグナス飛行機 その他：質問					
北上市立東陵中学校2年生 6. 11. 6 体験・学習時間 9:00 ～ 15:00				女子1名		
その他	アンデス音楽ミニコンサート(ボランティア出演) 6. 8. 12 奥州宇宙遊学館 {自主事業}					3
	演奏：ルセリート ⇒ 台東区で活動する下町ケナ同好会の会員、2008 年結成 東日本大震災後、岩手県沿岸部被災地に行き、「復興支援コンサート」を継続している				一般市民 35 人 台風5号直撃中	
情報提供事業	・ホームページ更新 適時 事務所内		・星空の小径 奥州エフエム 毎週月曜日 16 時 30 分 ～ 45 分			6
	・新聞・テレビ 随時 報道各社		・ポスター・チラシ 適時 市内外、諸施設への掲示依頼			
	・奥州市広報紙 毎月1回		・【保・幼・小学校・中学校】への案内・チラシ配布 必要時			
受託事業	奥州宇宙遊学館の管理運営 (奥州市からの受託)			R 6. 4. 1 ～ R 7. 3. 31		19,592

(2) その他の活動に関する事項

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
受託事業	いわて ILC 加速器科学推進会議 事務受託	6. 1. 1~ 6. 12. 31	NPO 法人 事務所	1 人	企業・団体・個人 各会員 一般市民	130

・令和 6 年度「大気・水・土壌環境保全活動功労者表彰」

(授与者) 環境省 水・大気環境局長

[本年度、受賞者数 : 団体 8 個人 2 合計 10]

(功績内容)

平成 18 年から星空観察会などの各種イベントや奥州宇宙遊学館の常設展、企画展を通じて、子供たちや市民を対象に自然科学について学ぶ機会を提供し、大気環境や水質環境を保全・再生する意識の高揚に資する普及啓発活動を継続的に行っている。

(表彰状伝達式)

受賞日 : 令和 7 年 2 月 5 日(水) 場 所 : 岩手県県南広域振興局

出席者 : 大江 昌嗣、齋藤 一 伝達者 : 県南広域振興局保健福祉環境部・岩手県奥州保健所 部長兼副所長

参考 : 受賞者、団体 8・個人 2

